

# エリアウェーブ

峡東教育事務所  
地域教育支援スタッフ  
TEL 0553-20-2731  
FAX 0553-20-2733

◎回覧・配付をお願いします。増し刷り配付はご自由にどうぞ。峡東教育事務所のホームページでも掲載中です。

<http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/kyoiku-hym/index.html>

◎記載内容についての文責は峡東教育事務所にあります。問い合わせ、ご意見・ご感想、情報提供は峡東教育事務所地域教育支援スタッフ(E-mail:maruyama-xdpr@pref.yamanashi.lg.jp)までお寄せください。

## 地域とともにある学校づくり

峡東教育事務所副所長  
竹川 和彦

昨年の3月19日、牧丘第三小学校の体育館で400名にものぼる地域の方々・卒業生・学校関係者が出席して、牧丘第三小学校閉校式典が開催されました。学制が発表された翌年に開校した140年に及ぶ歴史を持つ地域の学校を閉校するという事は、少子化・過疎化という社会状況をみた上での保護者・地域・関係機関の方々の苦渋の決断であったと思います。

私も、地域関係者として、閉校式典実行委員会の一員に加えていただきました。小学校が地域に果たしてきた様々な役割を確認し、新しく開校する笛川小学校につなげていくために、地域としてできる最大限のものを閉校式典に結集することを目標に、学校と地域が総掛かりで企画・準備にあたりました。この閉校に向けた学校・地域・関係者の取組は、当時の12名の在校生、また、地域の方々にとっても、学校を支えてきた地域の人的・物的資源のすばらしさを再認識できたものであり、4月からの新しいスタートに向けての大きな支えとなったと思います。同時期に閉校した、牧丘第一・牧丘第二・三富の3小学校も同様であったと思います。

今年の3月に新学習指導要領が改訂・公示されました。そこでは、情報化やグローバル化などの急激な社会的変化の中でも、未来の創り手となるために必要な資質・能力を確実に備えることのできる学校教育を実現するために、よりよい社会を作るという目標を、学校と社会が共有し「社会に開かれた教育課程」のもと実現していくことが強く求められております。この新学習指導要領の中で求めている「社会に開かれた教育課程」とは、一つ目として社会や世界の状況を幅広く視野に入れ、よりよい学校教育を通じてよりよい社会を作るという目標を持ち、教育課程を介してその目標を社会と共有していくこと。二つ目としてこれからの社会を創り出していく子どもたちが、社会や世界に向き合い関わり合い、自分の人生を切り拓いて行くために求められる資質・能力とは何かを、教育課程において明確化し育てていくこと。三つ目として教育課程の実施にあたって、地域の人的・物的資源を活用したり、放課後や土曜日等を活用した社会教育との連携を図ったりし、学校教育を校内に閉じずに、その目指すところを社会と共有・連携しながら実現させることといったものです。単に学校を開くということにとどまらず、地域・社会と協働して子どもたちを育てていくということでもあります。昨年3月の牧丘第三小学校の閉校に向けた学校と地域が一体となり進めた取組に、この一端を見ることができました。

国は、少子化に伴う小中学校の統廃合により地域から学校がなくなることによる地域コミュニティの衰退等、今日的な教育課題への対応策の一つとして、学校を地域の特色を生かした学校づくりに向け、保護者・教職員・地域住民が一体となり取り組むことができる協働組織である「学校運営協議会」を設置したコミュニティ・スクールにすることを推進しております。平成29年4月の状況では、全国の公立小中学校の11.7%、山梨県内では8校がコミュニティ・スクールとなっております。峡東教育事務所管内では、昨年4月に4小学校が統合して開校した笛川小学校も開校と同時に「学校運営協議会」を設置したコミュニティ・スクールとなっております。他にも甲州市の菱山小学校が平成30年度より、大和小学校が平成31年度よりの導入に向けて研究・準備を進めております。

今後、急速に変化していくことが予測される社会において、学校・地域を含めた社会全体で、子どもたちの望ましい成長のために、その責任と役割を明確にし、地域とともにある学校づくりを進めていくことが強く求められております。コミュニティ・スクールの導入もその一つであります。私たちも、こうした大切な時期を迎えていることの認識を新たに、総ぐるみで、地域とともにある学校づくり、未来の創り手の育成を進めていきたいものです。

今年度のノーベル生理学・医学賞を、体内時計に指示を出す遺伝子を特定した功績が認められた3人の米国人科学者が受賞しました。人間の身体のリズムは、毎朝太陽の光を認識することによって調整されています。また、成長に欠かせないホルモンも、このリズムに沿って分泌されます。寝不足や不規則な睡眠リズムは、心身の健康を損なう恐れがあると指摘されています。

一方、文部科学省のある調査では、小・中学生の約87%が朝食を毎日食べているそうです。裏を返せば、13%の小・中学生（40人の教室で5人程度）が朝食を抜いている、または、抜くことがあるということです。朝食のメリットは、栄養の補給はもちろん、脳の活性化・早寝早起きのリズムづくりにつながっています。朝食の大切さを再認識し、毎日きちんと朝食を摂りましょう。

## 中学生 交通・防犯弁論大会

## 笛吹警察署・日下部警察署

笛吹警察署は8月25日(金)にいちのみや桃の里ふれあい文化館において、また日下部警察署は29日(火)に甲州市民文化会館において管内中学生交通・防犯弁論大会を開催しました。表現や態度に加え、交通弁論では、交通安全思想を高揚し、交通事故防止に役立つ内容になっているか、また防犯弁論では、少年の非行防止に関する自覚を促し、県民の防犯思想の高揚に資する内容になっているかが審査されました。発表した生徒一人一人が学校の代表として自分の考えを一生懸命伝える素晴らしい弁論大会でした。紙面では最優秀のみお知らせします。

	交通弁論の部	防犯弁論の部
笛吹警察署管内	御坂中学校2年 飯塚彩心さん 「一瞬の怖さから」	一宮中学校3年 畠田結花さん 「違法薬物の誘いに負けない」
日下部警察署管内	勝沼中学校3年 小林夏季さん 「伝統の力」	塩山中学校3年 功刀なつさん 「誰もが安心して過ごせるために」



## 一日教育委員会

## 山梨県教育委員会・峡東教育事務所

山梨県教育委員会では、県民と直接意見交換をする場を設け、教育行政に係る様々な課題等について県民の意見要望等を直接聴き、今後の教育施策に生かそうと、一日教育委員会（教育懇談会）を行っています。

9月6日（水）に峡東地域の一日教育委員会が、笛吹市スコレーセンターにおいて、学校教職員・PTA関係者など132人の出席のもと行われました。山梨県教育委員会からは、5人の教育委員をはじめ、守屋教育長、教育委員会の関係各課の課長等16人が出席しました。

今回は『学校と家庭及び地域社会との連携』『子供同士の望ましい人間関係づくり』『児童生徒の体力向上』の3つのテーマに沿って話し合いが行われました。

参加者からは「家庭学習の取組やコミュニティスクールについて」「いじめや不登校のこと」「親子のコミュニケーション」など活発に意見が出されました。また、「スマートフォンの使用方法、ルール作りについて大変参考になった。便利なツールではあるがマイナス面が多くなるような教育も必要だと感じた」「小グループで話す機会があるとよかった」「山梨県における教育問題を理解できた。ぜひ家庭でも取り組んでいきたい」「普段聞く機会の少ない県の教育委員会の方の話、また、他地域の方々の話も聞けて良かった」など、たくさんの感想が出されました。



# フロンティア・アドベンチャー「やまなし少年海洋道中」

県教育庁社会教育課

物質的な豊かさや便利さの中で育まれている青少年に、心の豊かさやたくましさを育むことを目指し、八丈島という大自然の中でのさまざまな体験活動を通して、友情・連帯・奉仕・開拓・交流の精神を育てるとともに、地域リーダーとしての資質向上を図ることを目的とした、『フロンティア・アドベンチャー「やまなし少年海洋道中」』が今年も8月1日（火）から9日（水）の8泊9日で開催されました。峡東地区からは9名の中学生が参加し、事前研修会・事後研修会を含めた12日間の活動で、キャンプ設営・野外炊飯・スノーケリング・サバイバル踏破（ピバーク）・地域交流などを体験しました。

＜参加生徒の感想：抜粋＞

仲間と協力することの必要性、父母のありがたみを知ることが出来ました。キャンプをしたことで、家という最高の場所に改めて感謝したいと思いました。

＜参加生徒の保護者の感想：抜粋＞

貴重な体験をさせていただけた幸運に感謝しています。家庭や学校ではとても経験できないことを体験させていただきました。30年間の積み重ねの上でのプログラムということも、親として安心できるものでした。何より、子ども自身が喜びいっぱい帰ってきてくれたこと、達成感を持てたこと、感謝以外何もありません。



## 子どもを守る防災対策

KORENふえふき

KORENふえふきでは9月6日（水）、きっずみさかにおいて、危機管理教育研究所代表国崎信江先生を講師にお招きし、『今日からできる！子どもを守る防災対策』という講演会を開催しました。国崎先生から、昨年4月に熊本で発生した震災を題材に、保育園の安全性・乳幼児と過ごす避難所生活の難しさ・子どもへの防災教育・家具の配置の見直し・応急手当の基礎知識などが動画を交えて説明されました。参加された70名ほどのお母さんたちは、地震発生時の子どもと自分の身の守り方・避難所での仮設風呂の利用の難しさなどを学び、防災訓練に参加する大切さや近所付き合いの必要性を再認識されていました。

なお、KORENふえふきとは…笛吹市内の子育て支援センター7か所（えいわ・きっずいちのみや・きっずいさわ・きっずみさか・きっずやつしろ・つどいの広場・わかばまいくえん）でつくる子育て連絡協議会ふえふきの略です。



## 乳児ふれあい体験

大和中学校

大和中学校では9月29日（金）、大和公民館において、乳児ふれあい体験を行いました。この乳児ふれあい体験は多くの中学校が取り入れている体験活動で、中学生は保健師さんやお母さんたちから命のバトンをつなぐことの大切さを学びます。

この日講師をされた保健師の古宿さんは、授業の冒頭に「この授業の後、命を大切にすることを改めて持ってもらえると嬉しい」と話した後、命の誕生の素晴らしさをご自身のお子さんの産声や心拍音を聞かせることで伝えました。また、生後1年未満の赤ちゃん3人とお母さんとも交流し、子育ての大変さや自分が如何に家族をはじめ多くの愛情の中で成長したかを学びました。



# あつまれ！ちびっこハッピーランド

## 山梨市子育て支援課

山梨市は9月29日（金）、山梨市民総合体育館の武道館において、子育て支援課・生涯学習課・健康増進課の3課協働で、入園前のお子さんとその保護者を対象に、『あつまれ！ちびっこハッピーランド』を開催しました。当日の講師はNPO法人すてっぷあっぷるの皆さんが務めました。また、2人以上のお子さんを連れて参加するお母さんたちのために、市の保健師・保育サポート「どんぐり」の皆さん・山梨大学医学部看護学科1年生もサポーターとして参加しました。69組の参加者が講師の掛け声や音楽に合わせて身体を動かしたり、広い武道館を自由に走り回ったり、くす玉割りをしながらスキンシップを深めました。



## 夜回り先生講演会

## NPO法人親子ふれあい広場

NPO法人親子ふれあい広場では10月14日（土）、いちのみや桃の里ふれあい文化館において、「水谷修講演会～優しさと勇気の育て方…夜回り先生からのメッセージ～」を開催しました。当日は、市内外から約300名の方が、水谷先生の壮絶な闘いの話に耳を傾けました。

先生は、まずご自身が夜の世界に入った理由を話されました。そして近年増えてきた心配な子ども（薬物・リストカット）との関わり、東日本大震災で被害に遭ったスタッフ・教え子のこと、家族にとって家が最も心安まる場所ということ、人の死には2種類（身体と心）あるということ、いじめの構造、褒めることの大切さ、心の病を治す薬の怖さなどを多くの具体例と共に話された後、1人の少女との出会いと壮絶な人生を話されました。先生の話聞いて『特別なケース』と捉えるのではなく、『地域の子どもは地域で育てる』ことがどんなに大切な、大人に対して発信された貴重なメッセージであったように感じました。



## 地域ぐるみで見守る青少年

## 山梨県青少年総合対策本部 峡東教育事務所

もうすぐ一年が終わり、希望に満ちた新しい年がやってきます。この時期に一年を振り返り、一年間無事に過ごせたことと、心身ともに成長したことを家族みんなで喜び合い、互いに感謝の気持を持つことが大切です。

山梨県青少年総合対策本部では、『あいさつ 声かけ 地域の「絆」』を重点目標に掲げ、青少年が家族や地域の一員として、『他者への思いやり』や『郷土を愛する心』を育み、健やかに成長するために、次のような呼びかけを行っています。

### 家庭での取り組み

家庭は、青少年にとって最も心安らく、かけがえのない居場所です。子どもたちは家族のあいだで交わされる温かい会話やだんらんを通して、多くのことを学んでいきます。青少年が、自ら考える力を身につけるとともに、心身ともに健やかに成長していくことができるように家族のふれあいを大切にしましょう。

### 地域での取り組み

地域は、青少年にとって世代を越えて多くの人たちとふれあうことのできる大切な場所です。近年、大人同士の交流の機会が減少し、地域内の人間関係が希薄になってきています。地域での活動は、共に生きる力など様々な『力』を身につけ、実践する貴重な場です。青少年が健やかに成長するために、学校や家庭とは異なる『地域の教育力』への期待が高まっています。特に冬は、地域の伝統行事に参加する機会がたくさんあります。青少年が主体となって企画できる魅力ある地域活動を企画し、展開しましょう。



# ファミサポ協力会員養成講習会

甲州市子育て支援課

峡東3市では、子育て支援課を中心に、市民の皆さんが安心して子育てができるよういろいろなサポート事業を実施しています。甲州市には、ファミリーサポート事業という、育児を手助けして欲しい人（依頼会員）と、育児の手助けが出来る人（協力会員）が相互援助して支えあう事業があります。仕事や買い物など用事がある時、体調不良の時や出産時等に「家族のピンチヒッター」として、一時的に子どもを預かる制度です。9月26日（火）、『ファミリーサポートセンター（ファミサポ）協力会員養成講習会』の第1回講習会が開催されました。今年度は子育てが一段落したから、孫の世話と一緒に、他県から来たので、地域のために何か役に立ちたいといった17名が、協力会員になるために子どもの心の発達・食事とおやつ・安全と応急対応（救命講習）等全6回の講習を受けています。子育てに奮闘中の皆さん、困ったことがあれば、安心して市の子育て支援課に相談してください。



## 管内中学校新人大会結果ダイジェスト

笛吹市中学校・東山梨中学校の新人大会が10月4日（水）・7日（土）に開催されました。各会場ではこれまでの先輩が築いた伝統を1・2年生が受け継ぎ、更に良いチームになるべく、一生懸命戦っている姿が印象的でした。また、プログラムにある「勝負ばかりでなく、マナーも大切に」を意識した行動がとても爽やかでした。各種目で上位入賞したチームは、地域の代表として、県大会での活躍を期待します。

以下は、団体種目の優勝校のみ掲載しました。

### ◆ 笛吹市の中学校 ◆

### ◆ 東山梨の中学校 ◆

野 球		御坂中	野 球	Aパート	山梨北中
サッカー		一宮中		Bパート	山梨南中
バスケットボール	男子	浅川中	サッカー		山梨南中
	女子	春日居中	ソフトボール		山梨北中
バレーボール	男子	一宮中	バスケットボール	男子	山梨南中
	女子	御坂中		女子	山梨南中
卓 球	男子	一宮中	バレーボール	男子	山梨南中
	女子	浅川中		女子	山梨南中
ソフトテニス	男子	石和中	ハンドボール	男子	塩山中
	女子	浅川中		女子	塩山中
剣 道	男子	石和中	卓 球	男子	塩山中
	女子	浅川中		女子	松里中
柔 道	男子	浅川中	ソフトテニス	男子	山梨南中
弓 道	男子	石和中C		女子	勝沼中
	女子	石和中C	剣 道	男子	勝沼中
				女子	塩山中
			柔 道	男子	塩山中A



## 訂正とお詫び

峡東教育事務所

前号に掲載しました「県中学校吹奏楽コンクール」の結果に誤りがありました。

誤 塩山北中：銅賞 → 正 塩山北中：金賞

塩山北中の皆さん、保護者の皆さん始め関係の皆さんにご迷惑をおかけしたことをお詫びいたします。これからは正しい情報をお伝えすることを肝に銘じて、エリアウェブの発行に努めて参ります。



# 山梨県立ろう学校

## 校訓 「己に克つ」

本校は県内唯一の聴覚に障害のある幼児児童生徒の教育を行う特別支援学校です。今年度は幼稚部8名、小学部10名、中学部5名、高等部10名 計33名が在籍しています。平成16年には、聴覚障害教育のセンター校として「きこえとことばの相談支援センター」を設置し、県内の聴覚に障害のある乳幼児から小中高生及び成人の方を対象として、きこえやことばに関する相談と支援を行っています。

今年度は、学校スローガン「しあわせ」を新たに定め、学習や様々な活動に取り組んでいます。今回は、10月1日に鳥取県で開催された第4回全国高校生手話パフォーマンス甲子園に出場した高等部の活動を紹介します。

★ 山梨県立ろう学校

スクール スローガン

し しっかり 取り組もう！

あ あかるく 楽しく！

わ わたしと あなたと

せ せかいへ はばたこう

15

### 山梨県立ろう学校(山梨県)

演劇

初出場

こんにちは。初出場の山梨県立ろう学校高等部です。総勢10人の小集団ながら、個性的で楽しい仲間達です。これまでも小さな力の結集が大きな力を生んできました。だからこそ、今回みんなで挑戦したいと思いました。内容は昨年の学園祭で発表した劇の続編です。絆をテーマに、観客と楽しさを共有できる発表を目指しました。今回も、会場の皆様と笑顔とパワーを分かち合いたいと思います。高等部10人全員で創りあげたパフォーマンスです。参加できない仲間の分も全力で楽しみます。初めての舞台、緊張すると思いますが、よろしくお祈りします。



—第4回全国高校生手話パフォーマンス甲子園公式プログラムより—

全国高校生手話パフォーマンス甲子園は、日本で初めて手話言語条例が制定された鳥取県で開催されています。今年で4回目と歴史は浅いのですが、年々参加校も増え、今年は54チームが応募しました。本校は、初出場ながら予選を突破し、本大会出場20チームの1つに選ばれました。手探りで創り上げた8分間の演技。学校行事や受験勉強とも重なり、思うようには進みませんでしたが、放課後を使い、集中して練習に取り組みました。

大会前夜には交流会もあり、他県の高中生や多くの方々と触れ合う貴重な機会となりました。また、本番では大きな舞台で観客に向け、全力で演技できたことは素晴らしい経験でした。惜しくも入賞はできませんでしたが、生徒たちの自信につながったはずです。支えてくださった皆さんに感謝しつつ、来年の出場に向け、早くも闘志を燃やしている山梨県立ろう学校高等部です。

